

建築計画委員会「小委員会委員」公募

建築計画委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い、ふるってご応募ください。

■募集要領

下記（１）（２）を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

（１）希望の委員会名

（２）応募者について

- ①会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
- ②現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名を記すこと）
- ③希望委員会で果たせる役割（1,000 文字以内）
- ④希望委員会に関連する業績（1,000 文字以内）

委員任期 承認日～2020 年 3 月

応募締切 2018 年 3 月 9 日（金）必着

採 否 委員会で決定のうえ本人に通知します。

提出先 事務局事業 G 榎本 E-mail : enomoto@aij.or.jp

.....

■住宅地計画小委員会 [住宅計画運営委員会]

主 査：徳尾野 徹（大阪市立大学）

募集人数：2 名

設置期間：2016 年 4 月～2020 年 3 月

活動目的：再生が求められている縮減化社会における住宅地を対象として、ハウジングから地域づくりまでを連続的・包括的・相互的に捉え、持続的・自律的代謝が進むような住宅地計画・デザインのあり方と手法について提言する。

■ライフスタイル小委員会 [住宅計画運営委員会]

主 査：小池孝子（東京家政学院大学）

募集人数：若干名

設置期間：2018 年 4 月～2020 年 3 月

活動目的：本小委員会では個人や家族の生き方や生活のあり方に注目した研究活動をおこなう。近年、家族員の減少に対応し、住宅の外部で互いの生活を支える活動が

活発になってきている。そうした活動が行われる場を広義での住まいの一部ととらえ「社会化・外部化する暮らしー地域とつながる住まい」をテーマに建築計画の方向性を検討する。

■地域施設計画小委員会 [施設計画運営委員会]

主 査：歳森 敦（筑波大学）

募集人数：4名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：日本は少子高齢化とともに人口縮減期に移行し、多様な地域のための地域施設のあり方を横断的に研究する意義は大きい。地域施設の研究・計画方法等の進展のために小委員会を設置し、発表の場を用意するとともに、研究者、計画・設計者の交流の促進を図る。

■教育施設小委員会 [施設計画運営委員会]

主 査：垣野義典（東京理科大学）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：教育施設に関しては、教育方法の変化、小中一貫校の急増、少子化による統廃合、地域施設との複合化など、取り巻く課題は山積している。本委員会では、教育施設に関する情報収集・研究を継続的に行い、公開研究会の開催などを通して、最新動向についての情報発信、計画・設計者の交流・討議の場の提供を行う。

■ユーザー・オリエンティド・デザイン小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：松田雄二（東京大学）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：本小委員会はノーマライゼーション環境小委員会を引き継ぐもので、建築に求められる、「普通」の状態からはわかりづらい多様なユーザー・ニーズの把握と、それらの建築デザインへの反映手法を検討しています。

■建築人間工学小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：後藤義明（岡山理科大学）

募集人数：2名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：建築空間・設備機器・家具の安全性や快適性の実現に必要な人間工学関連の知

見を蓄積・更新し、高齢者、障害者、子供などの多様なユーザーの生理・心理・行動特性をふまえた生活環境の質的向上について多面的に検討する。

■安全計画小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：峯岸良和（竹中工務店）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：建築の新しい形態や使われ方、また技術の進歩に伴い発生する危険要因を抽出し、それに対応した建築の安全計画の考え方と計画方法を提案することによって、合理的で効果的な建築の安全性を実現することを目的とする。

■情報設計小委員会 [計画基礎運営委員会]

主 査：湯本長伯（社会構造設計研究所）

募集人数：5名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：建築設計を対象に、用いる情報と設計の方法・環境等の2面から研究する小委員会です。総計資料小委員会から続く、建築種別に限定されない情報、設計に共通のあるいは本質的な情報をどのように使うかが研究テーマで、研究会見学会開催、出版を中心に活動しています。

■公共施設マネジメント小委員会 [設計計画・構法計画運営委員会]

主 査 名：伊丹康二（大阪大学）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：自治体における公共施設の再編計画策定およびその実践が社会的課題になる中、公共施設の再編・再配置、既存施設の再生・活用、公共サービスの提供方式、公共施設の廃止や機能の移転による効果や影響等の研究課題に取り組み、公共施設マネジメントの方法論の提示を目指す。

■EBD小委員会 [設計計画・構法計画運営委員会]

主 査 名：那須 聖（東京工業大学）

募集人数：1名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：Evidence-Based Design とは、科学的根拠を用いて明示的に良心的に思慮深く最良・最善の設計することである。小委員会では EBD の推進のため、学校、病院、住宅、オフィス、都市空間など、横断的に、デザインと人間行動、空間性能、評価との関係のエビデンスの学術的体系化を目指している。

■**建築・空間ストック活用小委員会**〔設計計画・構法計画運営委員会〕

主 査 名：納村信之（名古屋商科大学）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：本小委員会では、建物の利用方法やニーズの変化といった時間軸を踏まえて、建物の改修や転用といった再生方法を研究していく。さらに、建物をとりまくエリアをどのように向上していくか、オープンビルディングの計画手法を参考に研究を展開していく。

■**各部構法計画小委員会**〔設計計画・構法計画運営委員会〕

主 査 名：岡路明良（鹿島建設）

募集人数：若干名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：各部構法計画小委員会は「構法情報の共有化」と「構法史」の知見を深め、情報発信することを主な目的とする。前者は蓄積された構法写真データベースを元にした「構法アトラス」、後者は「近代建築作品の構法解説本」の出版をそれぞれ当座の目的とする。

■**木造構法小委員会**〔設計計画・構法計画運営委員会〕

主 査 名：権藤智之（東京大学）

募集人数：1名

設置期間：2018年4月～2020年3月

活動目的：本小委員会では民家、在来木造、中大規模木造など木造建築構法に関する多様な分野を対象とし、最新の研究成果を踏まえて今後のあり方を探ることを目的としている。